

【龠幸輪の書き方について】

【用意するもの】

水性のペン、筆ペンなどがおススメ。油性のマジックやボールペンはNGです。龠幸輪を燃やす時に使うライター、チャッカマンなど使いやすいものを使用。

【準備】

パッケージを開くと銀紙に包まれた龠幸輪のお札が、厚紙に挟まれ10枚入っています。厚紙に「上」と書かれた方がお札の上になります。落としたりして上下が分からなくなると機能しなくなるようです。ご注意ください。残った龠幸輪は、銀紙に包んで保存できます。

【人生全般を良くする書き方】

「龠幸輪書き方」と書かれている①～⑩の項目内の横に書いてあるカタカナをよく見てから、厚紙の1枚を下敷きにして、その上に1枚ずつ龠幸輪を乗せ、文字を縦に書いてください。故人氏名、氏名と書かれているところは漢字です。龠幸輪を1枚ずつ書いて1枚書くごとに燃やしてください。上の尖った所を手で持ち、下の尖ったところに火をつけて、ある程度燃えたら手を放すと良いです。

包装してある銀紙を灰の受け皿にして10項目を1枚ずつ、書いては燃やし、書いては燃やします。一度に書いて、まとめて燃やさないで下さい。

その人のエネルギーの状態が悪かったり、いろいろなゴミがついていると火をつけても燃えきらなかったり、重くてポテッと落ちてしまい上に上がりません。燃えきらず、灰にならないまま断片が残ったものは、最後まで灰になるまで燃やしてください。断片をピンセットや箸でつまんで燃やすと良いです。

全部燃やし終わったら、流しや、洗面所、近くの川などで、灰を流してください。その時に、銀紙を、ちまきのように、くるんで流す場所まで持っていかないと、灰が舞い散りますのでご注意ください。

注) 書き方には、横書きで左から右に書かれていますが、書く時は国語の教科書のように、右から縦書きに上から下に書きます。

【**龕幸輪の書き順**】は文字の書き順を示しています。

書き順を間違えないようにしてください。
文字のエネルギーは書き順に宿ると言われています。

【**供養の書き方について**】

供養の書き方は、亡くなられたご先祖の状態を良くして差し上げる為に使うものです。この世の人間がいくら頑張っても、上流に位置する家系の因縁因果、DNA的な要因に問題があると、下流におけるこの世の私達の人生にも影響し、なかなか結果がでてきません。供養の書き方で供養することで、上流の先祖の因縁因果を徐々に取り除き、本来の光りの領域に上がって行きやすくなります。それにより、私達の人生も楽になり、不思議と変化が起こりやすくなります。

特に、年3回ある供養月の、お盆や彼岸の時は書いて上げると良いです。故人氏名というところには、生きていても亡くなくてもご自身の両親、祖父母、それ以外でも、家系において気になる亡くなり方をされた方、なぜか気になる方。亡くなった子供。

(妻・婿の場合…)生きていても亡くなくても嫁ぎ先の夫、妻の両親、祖父母。自身の実家の両親、祖父母を1人につき、3枚書きます。最後に1枚ご自身の名前を書いて燃やします。

【**供養の書き方で人間関係をスムーズにする書き方**】

今、遭遇している因縁因果から来る人間関係の問題や、滞りを、本来の縁に戻していく作用があるので、攻撃をされていたり、人間関係で苦しんでいる場合、現状において気になる人がいる場合にも使えます。夫婦やパートナー、子供、友人との関係性を良くする時も使えます。

他人のことを供養の書き方で書いたり、家族の人生全般を良くするため10項目の代筆をする場合は、必ず最後に、ご自身の名前を1枚書いて燃やすか、または、代筆された方が“最後に”自分の人生を良くする書き方10項目全部を書くようにしてください。代筆者に他人のゴミがつかますので、ご自分のゴミを取る為に必ず、最後に書かれると良いです。

